

小中学校建設と併設される学童保育の進捗状況は

神田 公司議員

神田 小中学校の建設について、今回の補正予算で6億9,000万円が土地購入代金として計上されている。進捗状況は。

教育部長 現在は設計を行っており、今年度中には終了して、今年度末までに用地の購入を行う予定。建設工事は来年度からで、開校が平成33年4月と予定とおりの進捗状況である。用地購入価格は、現在九州財務局と交渉中、お互いが土地の鑑定をやり、交渉にあたっていく。

神田 6億9,000万円、これを上回ることはないのか。

教育部長 現在補正予算で計上している金額は、あくまでこちらで想定した価格。交渉で幾らという話はまだ全然決まっていない。あくまでも今までの売買の実例価格等を参考にしている。

神田 950名という今の想定人数でいけるのか。

教育部長 小学児童が650名、中学生が300名で、合計の950名。今のところはこの数字内でいけると



思う。確かに、新設校周辺の宅地開発等の情報もあり、児童生徒数の増加は当然予想される。ただ、想定を上回るところまででは考えていないが、可能性はゼロではない。

神田 併設する学童保育所は6クラブ（1クラブあたり概ね40人）と言われているが、実際にどのよう新しい小学校に併設するのか。場所的なものも含めて、現時点で考えは。

健康福祉部長 整備については、学校教育課と情報共有し進めていく。規模については余裕を持って整備をしていく。

たい。場所については、敷地内が厳しいというところで、学校敷地の隣地を来年度購入して整備を進める方向である。



西合志東小学校第5・6学童クラブ予定地

電気料金の削減で地域経済の循環を！

澤田 雄二議員

澤田 平成29年度決算において電気料金の歳出額は。

総務部長 一般会計分71施設で約1億2,970万円。特別会計分10施設で約1億1,390万円。市全体で約2億4,360万円となっている。

澤田 他の自治体では新電力に切り替えたり、電力の地産地消に取り組んでいる。本市の現状は。

総務部長 電気料金の削減について試算を行っている。試算結果に基づき新電力への移行などメリットを十分判断しながら関係部署と協議を行う。

澤田 市民や行政・各事業所で支払う電気料金は、ほとんどが市外・海外へ流出していく。この中から3割でも市内で生産し供給できれば、新たな経済循環や雇用創出が生まれる。電気料金削減と合わせて市の考えは。

総務部長 地域の中で経済的に回していくという考え方も、何ができるか勉強しながら話し合っていく。



市営住宅維持管理

澤田 市営住宅の整備状況は。

都市建設部長 市全体で18団地77棟290戸である。

澤田 空き家の推移と現状は。

総務部長 平成27年度調査で260戸。32年度は2回目の実態調査を行う予定であり、数的には増加していると考えられる。

澤田 空き家を家賃補助という形で公営住宅の代わりに提供し、需要と供給のギャップ解消、維持管理費の平準化は出来ないか。

都市建設部長 空き家の有効利用など国の進める民間住宅活用例などを研究し、財政の効率化や経費の平準化に資するものについては積極的に取り組んでいく。

運転免許返納者への広報と支援を！

坂本 早苗議員

坂本 昨年6月議会で車の運転をやめる高齢者が不利益にならないよう運転免許返納制度の積極的な広報を求め一般質問した。その後の対応は。

総務部長 免許証返納により県内6事業者のバス、電車運賃等が半額になる免許証返納割引乗車証などの広報等は現在まで掲載できていない。12月の広報こつし、ホームページに掲載準備している。

交通安全課長 今後は春と秋の交通安全週間にも広報、啓発をしていきたい。高齢者受給者説明等を利用し、チラシ配布、説明を行いたい。

坂本 運転免許返納者に対し、合志市独自の支援策の検討は。

企画課長 地域公共交通協議会に審議をかけた。

台風・地震等の防災対策は？

坂本 今年の夏から秋に台風等で6回自主避難所が開設されたが、その基準は。

総務部長 その都度協議し、台風の大きさにより合志庁舎1カ所、須屋

市民センター、泉ヶ丘市民センターなど数カ所の開設を行っている。

坂本 大規模災害時の避難所開設・運営マニュアルが作成されているが、その周知方法は。

総務部長 どういう周知方法がいいのかを今後協議していきたい。学校の体育館については教育委員会も協議を進めたい。

教育長 避難所開設マニュアルについては校長会等で周知していきたい。

坂本 防災備蓄倉庫の現状と備蓄食料品の活用方法は。

総務部長 防災倉庫は7カ所あり、食糧品は防災拠点センターで1万食を目標に計画している。

教育部長 備蓄米の活用は学校と協議したい。



備蓄食品

中山節夫監督 作品上映会を

上田 欣也議員

上田 郷土の偉人の業績に触れると共に先祖に思いをはせ、見習おうと思つことは教育の大きな柱ではないかと思うが、教育長の立場でどう考えるか。

教育長 市民アンケートにも、先人の心を大事にした授業をお願いするというものや、合志市やその歴史を学ぶ機会がないという記述がある。私は合志義塾に魅力を感じている。その教育に学び、子どもたちに夢を持ち、世界に目を向けて大きく羽ばたいてほしい。そういった願いから先人たちの偉業を伝える教育を展開したい。

上田 郷土の多くの先達の中で、50年以上現役の映画監督である中山節夫さんの業績をどう評価するか。

教育部長 旧合志町の時代に歴史資料館で、中山節夫展を開催している。今後映画の上映と企画展などを実施し、広く市民に紹介できればと考えている。

上田 『新・あつい壁』のDVD化が本市でできたことは誇りである



新・あつい壁 DVD

が、他の作品はなかなか見ることができない。ぜひ上映の機会を設けてほしい。

上田 現在とどう変わるか。改善の目玉は何か。

総務部長 スマートフォン対応と必要人に必要な情報を記事が更新されたときに発信する「プッシュ型のメール機能」やSNS連携機能などがある。2月中にはリニューアルを完了したい。

上田 ホームページ等の活用で、窓口対応や職員の負担軽減につながるのではないか。

企画課長 求める情報に快適にたどり着くための機能と同時に、それに対する評価も受けるようにする。